

The logo consists of two rows of stylized, rounded characters. The top row contains '0', '1', and '2'. The '0' is orange, the '1' is green, and the '2' is teal. Small colored dots (yellow, green, and teal) are placed between the characters. The bottom row contains 'A', 'R', and 'T'. The 'A' is blue, the 'R' is purple, and the 'T' is red. All characters have a soft, rounded, hand-drawn appearance.

0.1.2
ART

Hands-on art classes for young children
-since 2003-



0.1.2 ART

金城大学短期大学部幼児教育学科と、認定NPO法人「おやこの広場あさがお」との共同企画「ちびっこアート体験」は、2003年に始まり20年間続いています。

学生は、2003年～2005年にボランティア活動として、2006年からは「特化造形表現」の授業の一環として、0,1,2歳児を中心とするこども、その保護者と、絵の具遊びなどを通して年間複数回交流しています。

20年分の活動の写真約5300枚、学生や保護者が記した言葉などから抽出し、20年間の実践報告にとどまらず、普遍性のある『0・1・2 ART』として、保育・幼児教育が大切にしている「見えにくいこと」を「見える形」にしました。



乳幼児のART(あそび)の魅力と意味、ART(あそび)を「見る」こと・「探る」ことの面白さを、未来に向けて広く発信していきたいと考えます。

ペンとあそぶ

大人は無意識のうちに子どもが使いやすいように箱の蓋を開け、「どの色にする？」...「〇〇色にする？」...と聞く。ペンのキャップを開けてあげ、子どもの手に持たせ、「さあ、描いて！」という素振りを見せる。

(悪気がないことは分かっている。)



はじめて見るもの



子どもの気持ちを想像してみよう！
小さな子どもにとっては、「初めての体験」「未知の世界」。

入れたり...
出したり...

探索



(ゴムで)音がでる！

じっと見る



手を動かすと色がつく
線が生まれる

子どもは哲学者？

大人は、もしかすると、余計なことをしているのかもしれない。
子どもは、見て...、触って...、
ゆっくり、ゆっくり「もの」と関わり、
感じながら、確かめながら、知ろうとしていく。
世界を広げていく。
その姿は科学者や哲学者のよう...。
それを見逃すなんて、勿体ない。

(これって、どんなもの？)

Who are you ?

こども、恐るべし

こどもは、恐るべき「洞察力」「好奇心」「美しいものへの直感力」を持っています。身近な人、ものなど、あらゆる環境から刺激を受け、あそびを創り出していきます。「教えてあげなければ」という不遜な思いは吹っ飛んでしまい、大人のアタマも日々新たになります。



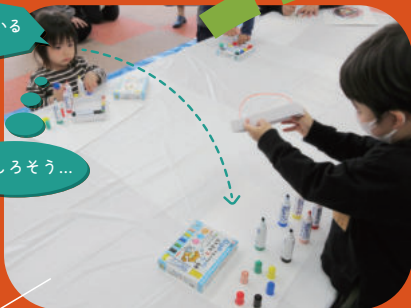
これもART!

作品としては
残らないけれど...



じっと見ている

おもしろそう...



2人の間に、言葉を介さない
「コミュニケーション」が生まれている...

わたしもやってみたよ!
自分なりのやり方で...



見守る

こどもの可能性や育つ力を信じ、「どうするかな?」という心もちで、こどもを見るのは楽しいことです。

自分であけたよ!

自分でしめたよ!



パチン!

おお! できたね



ARTはあそび

「そんなに小さなこともが、何かを描くの？」と感じるかもしれませんが、ありません。

0・1・2 ARTは「あそび」
身近な「もの」と「かかわっていく」ことそのものです。

大人は、これまでの経験により「ART = 作品を作ること」と、狭くとらえがちです。保育者からも、「0・1・2歳児の造形って、何を作ればいいの？」という声をよく聞きます。

「何かを描かせよう」、「作品を作らせよう」と構える必要はありません。ARTは作品を作ることだけではなく、形や色、素材と「かかわっていく」ことそのものも含み、そのことに大きな意味があります。

「何か」になる場合もありますが、
ならなくてもよいのです。

Wonder!



気持ちいい!



初めての感動

まだ握力の弱い小さな子どもでも、マーカーペンや絵の具で遊ぶことは案外容易です。手を動かすと白い紙の上に色や形が生まれます。生まれて初めてペンや筆を握った子どもの「嬉しい!」「楽しい!」という思いが伝わってきます。

少し描くと、お母さんの顔を見て、お母さんがニコッとほほ笑むと、また描き始める姿がよく見られます。



筆であそぶ



ペンで描く



あそびの跡が作品になる

思い通りに手を動かして遊んだ痕跡が、今、この年齢の時にしかつくれない素敵な「色」や「形」になってあらわれます。からだの発達や心の動きも見えてきます。

初めは戸惑っている子どももありますが、慣れてくると、どんどんいろいろなことにチャレンジします。一人ひとり、違う遊び方をしています。

探索する

「探索」とは、
知らない物事に興味を示し、それがどんなものなのかを確かめ、知ろうとする行動です。

絵の具はとても不思議です。
手を動かすと「色」や「形」が変わります。

こどもたちの好奇心や探究心をひきだし、
どんどん遊びが広がっていきます。



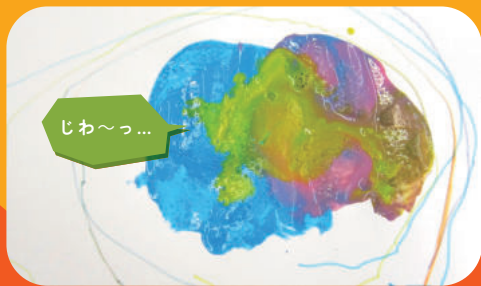
ぼとぼと...



たら〜っ...



何の執着もなく、
どンドン塗り重ねて
いく潔さ！



じわ〜っ...



ぐるぐる
ぐるるん...

あそびこむ

「よし!」とスイッチが入ると、こどもの手は
どンドン動き「やってみよう」と試みます。
まだ十分に言葉でコミュニケーションできない
年齢でも、素材や行為を楽しむ姿や豊かな
表情、片言の言葉から、発見や驚き、感動を読み
取ることができます。

その瞬間に寄り添い、大人が共感的に応答する
ことにより、こどもはさらに楽しい気持ちに
なり、遊びを展開していきます。



心があそぶ

0-1-2
ART

集中する



真剣なまなざし

心が解放

少し慣れてきた子どもたちは、絵の具で汚れることが大好きです。手や足が一旦汚れると心が解放され、絵具と徹底的に遊び始めます。この時だけは、どんなに洋服や床を汚しても叱られない安心感が、どんどん心を自由にします。お父さん、お母さんたちも、大らかな目で見守ります。



お姉ちゃんたちも
あそんじゃった！



没頭する



体を動かした痕跡が
作品になる



わたしと
えのぐが
一体になる



絵の具をしぼる



絵の具の雨を降らせる



はみ出す



何枚も...何枚も...

遊びは、それ自体が目的となっている活動であり、遊びにおいては、何よりも「今」を十分に楽しむことが重要である。子どもは時間が経つのも忘れ、心や体を動かして夢中になって遊び、充実感を味わう。そうした遊びの経験における満足感や達成感、時には疑問や葛藤が、更に自発的に身の回りの環境に関わりとする意欲や態度の源となる。

『保育所保育指針解説』（平成30年2月 厚生労働省）より

大人の視点が変われば 「こども理解」が深まる

作品をつくらせようと思わなくていい

いろいろなこどもがいて、その時々のお気持ちがあります。こどもは大人の目をよく見えています。手を動かしながら、大人の反応を確認し、安心して遊び続けたり、手を止めてしまったりします。大人が何を期待しているかを探り、小さいながらも、大人に合わせてやろうとすることもよくあります。



いちばん大きく変わったのは、 大人の意識

「0・1・2アート」では、大人の視点が変わることにより、理解が深まりました。こどもが遊びこんでいる姿を見たお母さんたちが「こんなことが楽しんだあ」と気づき、こどもが「いろいろ試している」ことに付きあい始めました。

こどもがいつもとは違う環境を受け入れ、自ら手を伸ばすまで「待つ」ことができるようになり、こどもがとんでもないことをしたり、服が派手に汚れることも予想したうえで、それも温かく見守っていられる気持ちの余裕が生まれてきました。

「みんなと一緒に」が安心、違うことをやっていると不安、というとらわれから解放されると、お母さんも肩の力が抜けてらくなるのです。



大人が学ぶ

O·1·2
ART

Research on art classes for young children
since 2003

学生の学び

自分たちも環境

一人ひとり違う

その時々のお持ちがある

こどもって面白い!

こどもってすごい!

大人は頭が固くなる

こどもから学ぶ

安心して自由に遊ぶことのできる環境をつくる



体験・気づきを共有する

子育て支援施設について学ぶ



こどもを真ん中に、 大人も育っていく

「0・1・2 ART」では
作品をつくることが
目的ではありません。

何かを描かせなければ...

みんなと同じことをさせなければ...

上手にさせなければ...

という大人のとらわれから解放されると、
こどもも大人もゆったりした気持ちになります。

こどもは安心して自ら手を伸ばし、
全身の感覚を総動員して世界を感じ、
あらわしていきます。

生きることそのものがART！

小さなこどもたちを見ていると
そのことに気づかされます。

作品づくりが目的ではないのに、
生まれてきた作品はのびやかでとても魅力的です。





「ちびっこアート体験」

20年の足跡

金城大学短期大学部
幼児教育学科



認定NPO法人
おやこの広場あさがお



Hands-on art classes for young children
-since 2003-

1	2003年 8月(6日間)	松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室(松任市中町)
2	2004年 8月(8日間)	松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室
3	2005年 8月(6日間)	松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室(白山市中町)
4	2006年 8月(6日間)	松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室
5	2007年 5月(1回) 8月(5日間)	松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室 松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室
6	2008年 5月(1回) 8月(5日間)	松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室 松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室
7	2009年 5月(1回) 8月(4日間) 11月(1回)	松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室 松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室 おやこの広場あさがお(白山市中町・ジョイモール内)
8	2010年 5月(1回) 8月(3日間)	松任賑わい交流館 会議室 松任賑わい交流館「プラスあさがお」展示室
9	2011年 5月(1回) 12月(1回)	松任文化会館ロビー(白山市古城町) おやこの広場あさがお(白山市西新町・サンライフ松任内)
10	2012年 5月(1回) 12月(1回)	金城大学短期大学部 おやこの広場あさがお
11	2013年 7月(1回) 11月(1回)	おやこの広場あさがお おやこの広場あさがお
12	2014年 4,5,7月(4回) 11月(1回)	おやこの広場あさがお おやこの広場あさがお
13	2015年 5,7月(4回) 11,12月(2回)	おやこの広場あさがお おやこの広場あさがお
14	2016年 5,7月(3回) 12月(1回)	おやこの広場あさがお おやこの広場あさがお
15	2017年 5月(3回) 12月(2回)	おやこの広場あさがお おやこの広場あさがお
16	2018年 5月(3回) 12月(2回)	おやこの広場あさがお(白山市殿町) おやこの広場あさがお
17	2019年 5月(2回) 11,12月(2回)	おやこの広場あさがお おやこの広場あさがお
18	2020年	
19	2021年	
20	2022年 4月(4回) 7月(4回)	おやこの広場あさがお おやこの広場あさがお